

12月の産山村星空観察



天空が広がるうぶやまの高原には冬が訪れ雪の舞う季節になりました。大変寒いのですが、空気が澄み切って、星空は一番きれいです。晴れば、肉眼の限界の6等星や天の川まで見えるうぶやまの素晴らしい星空を楽しみませんか。

イベント情報

- | | |
|-----------|--|
| 1. 日 付 | 令和8年 12月 14日(月) / 24日(木) |
| 2. 時 間 | 日没後(18時00分頃) ~ 22時00分 |
| 3. 場 所 | うぶやま天文台(ファームビレッジ産山内) |
| 4. 持参物 | 星座早見盤(持っていない人は当日配布します。)
★産山村民の入館料は無料です。 |
| 5. お問い合わせ | 産山村教育委員会(0967-25-2214) |

指導員コラム(天体観・見どころ)

12月は14日のふたご座流星群の極大日と24日のスーパームーンの日、に村の星空観察会を行います。(※ 通常の日曜日の観察会と曜日が異なります)

12月の日の入後、南の空には土星が見えています。明るさは0.7等級で輝いています。昨年、土星は15年ぶりに環が消失する現象が起き、現在も環の傾きが非常に緩やかな(小型望遠鏡では一直線に見える)珍しい姿を見ることができます。まだ見てない人はこの機会に是非見ておくといでしょう。木星や火星は22時過ぎに東の空から昇ってきます。

その外に秋から初冬の星座が観察できます。頭上に位置するアンドロメダ座にある私たちの住む銀河系宇宙のお隣の宇宙、アンドロメダ銀河(M31)、秋の宝石とも呼ばれるペルセウス座の二重星団(hとx)、プレアデス星団(スバル)、星が産まれる現場、オリオン座のオリオン大星雲(M42)などを大型望遠鏡で楽しみましょう。

丁度、中学3年生は今、天体の学習をしています。また、小学6年生は、月や太陽の学習、小学4年生は星の動きの学習をしています。それらを確認するのにいい機会です。

観察対象



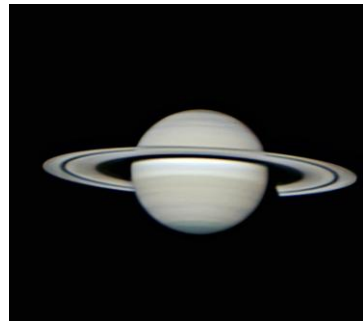
アンドロメダ銀河 (M31)



ペルセウス座の二重星団(hとx)



プレアデス星団(スバル：M45)



環が少し開いた土星



オリオン大星雲(M42)



オリオン座の馬頭星雲